

農林水産省 令和元年度

海外農業・貿易投資環境調査分析委託事業（インドその2）

令和元年9月

株式会社エイチ・アイ・エス

目次

1. インド国内の食・農業の展示会に係る調査	3
ア) 過去2年間にインド国内で開催された食・農業の展示会について	3
イ) 日本企業が効果的に出展するためのポイント	4
2. ジャパン・パビリオンに係る広報	4
(1) パンフレット及びウェブの作成	4
(2) インド進出セミナーの開催	5
① 名古屋セミナー	5
② 大阪セミナー	9
③ 東京セミナー	13
④日本企業からの食品加工省への要望	16
3. 出展者のとりまとめ	16
4. ジャパン・パビリオンの設計・管理等	17
5. その他	19
<別紙 1-1>	20
<別紙 1-2>	21
<別紙 2>	214
<別紙 3>	20

1. インド国内の食・農業の展示会に係る調査

ア) 過去2年間にインド国内で開催された食・農業の展示会について

主催者、出展者数、出展内容、来場者数をインターネット等により調査を実施。また、当該展示会に出展した日本企業10社以上に対して、出展の状況（配置人数、パネルの有無等）、出展の効果についてヒアリングを行った。

展示会名	World Food India 2017 DELHI	Anna Poorna 2018年 MUMBAI	ANUTEC 2017 DELHI
時期	11月	8月	9月
主催者	MOFPI	FICCI	ケルンメッセ
イベント内容	食品・食品加工	食品・食品加工	食品・食品加工
出展社数	約800社	約338社	約435社
来場者数	約75,000人	約10,232人	約10,972人

調査方法：インターネット及び直接ヒアリング及びアンケート。

参考資料：日本貿易振興機構HP、各展示会HPにある“POST SHOW REPORT”を参照。

協力企業様：ハウス食品グループ、イセ食品株式会社、株式会社キュアテック、
チョーヤ梅酒株式会社、カゴメ株式会社、日産スチール工業株式会社
和食「FUJI」、株式会社伊藤園、HASORA、くふ楽（KUURAKU GROUP）

配置人数について

- ・1～2名 2社
- ・3～4名 4社
- ・5名以上 4社

パネルの有無

- ・あり 7社
- ・なし 2社
- ・回答なし 1社

出展の効果

- ・一定の効果があった 7社
- ・効果は無かった 3社

その他の意見と対策

	課題点	対策
A	情報の伝達 1 インド人スタッフのメールのみ。多分情報伝達の担当が彼一人だったため、問合せメールを送っても返信が来ないことが多数あり。何回かクレームを言ってようやく回答を送ってくる始末。謝罪はなし。	
B	情報の伝達 2 出展社へのメール送信がやたら多く。期限付き提出書類の通達メールを見過ごした時などに、個別のフォローの作業をしない。多分、インド人の性格のため。	問題の原因はインド人スタッフを全面に出し、ハンドリングさせた事と考察できる。日本人のマインドでもある“報連相”が出来ておらず、結果的に参加企業様からのお叱りを受ける形式になってしまい、事務局としての機能なされていない点が課題として上げられる。
C	情報の伝達 3 主催からの英語メッセージを英訳・説明なしにそのまま転送。そのフォロー無し。ローカルの中小企業の出展社さんたちが困っていました。	
D	情報の伝達 4 開催前夜の大使館の懇親会にて、別ルートから2つのバスを持っていても当日午前中は入れないと言う情報を聞く。その件をインド人スタッフに聞くとメールで送ったと言ったが、ほとんど出展社がそのことを把握しておらず、情報伝達がうまく言っていないが露見する。その後、<入れるように手配した>と言っていたが、結果は下記<G>へ。	対策として、日本人スタッフを事務局として対応を行い、“報連相”を徹底する事により、参加企業が対印へ向けたの投資及び輸出を加速させる。
E	ブースづくり こちらの指定した形になってないことが多数あり。私のブースだけではなく、他社さんからも同様のクレームを聞きました。	コミュニケーション不足が原因と思われる。 時間的余裕の無い中、インド人のクオリティを事前察知し、伝える事が求められる。
F	出展社募集 日本食糧社新聞に丸投げの結果、イベント1.5カ月前にJETRO・農水省に助けを求める。弊社は農水の植竹さんからの依頼で出展しました。(WFI2017)	媒体を1社に限定するのは危険だと解る。結果論だが、『安かろう、悪かろう』となり、企業様からの信頼も失われる。
G	開催中のおペレーション 開催当日現地に10:00入りしたが、モディ首相規制の為に多くの出展社が入れず。特にインド日系企業や中小企業。インド人スタッフへ連絡し、<今から入口に迎えに行くから10分待って>と言われたが、その後連絡が不通となり、2時間待たされる羽目となる。	
H	開催中のおペレーション 大手企業と農水幹部にしか対応していない。この件に関しては多くの方から不満を聞いています。	事前の“情報”が不足している且つ、“官民連携”を怠ったのが原因と考えられる。事前に予想できる点は予めインフォメーションを入れておき、“備えあれば憂いなし”を現実にする必要がある。
I	その他 1 富士へ弁当の発注をもらうが、その際に値引き交渉を再三強要される。以前の別イベントの際にも断りを入れた経緯があり、更にワールドフードインディアでは農水から依頼されて出展したにも関わらず非常に不愉快な思いをした。	
J	その他 2 WFI2017開催日前日の日本大使館の懇親会において、JIIPA代表へインド人スタッフの対応クレームを入れる。理由は上記(A~E)トラブルの積み重ね。代表からは農水から多くの予算をもらっていないので、細かい対応はできないので、そんなに責めないでくれ。私たち業務は単純に伝言係と認めてくれると言う驚きの言葉ももらい空いた口が塞がらなかった。	対応の問題。主にはコミュニケーションとケアマネジメントが重要と伺える。同じ事を起こさない為には出展者様との円滑なコミュニケーションが求められる。
K	その他 3 他の出展社や日系企業を集めての<インド視察ツアー>。ディレクションをJETROさんが野村総研さんへ依頼を行ったと聞いています。こちらも決して安くはない旅費を払っているので事前に情報が欲しかった。	

イ) 日本企業が効果的に出展するためのポイント

企業アンケートより“一定の効果があつた”と回答した企業に着目

- ・人数は3名以上を確保
- ・パネル等の装飾はあつた方が効果的

以下、その他の意見より

- ・事務局として出展企業への配慮、及び“報連相”の徹底が出展企業のモチベーションにも大きく関わる事がポイントとして上げられる。
- ・ブース設営、及び開催中のおペレーションでも事務局の重要性が伺える。
- ・官民連携の重要性、密接な関係性を構築する事が重要になる。

2. ジャパン・パビリオンに係る広報

(1) パンフレット及びウェブの作成 <別紙 1-1, 1-2 参照>

WFI2019におけるジャパン・パビリオンに出展する企業を募ることを目的に、名

古屋、大阪及び東京にて開催した「農業・食産業のインド進出セミナー～World Food India 2019に向けて～」をPRするためのパンフレットを作成した。セミナー等、日本企業と接触する機会には当該パンフレットを持参し、広報を実施した。

また、WFIに向けて日本企業とのコミュニケーション・プラットフォームとして、専用ウェブページを立ち上げ、インド進出セミナーの開催案内をはじめとした情報提供、セミナー参加申込み、ジャパン・パビリオンへの出展登録を実施した。

(2) インド進出セミナーの開催

インド市場進出に関心のある日本企業や WFI2019 に興味を持っている企業向けに、7月29日(月)～31日(水)に、名古屋、大阪及び東京にて、「農業・食産業のインド進出セミナー～World Food India 2019に向けて～」を開催した。本セミナーでは、ジェトロ・ニューデリー事務所からアドバイザーを招き、インドの概要や市場情報、商慣習等、生の情報についても共有した。

なお、当該3カ所セミナーには、WFIの主催者である食品加工省リーマ・プラカシュ局長を含むメンバー5名が訪日し、日本企業に対し、インドの食品加工分野における投資環境について説明するとともに、WFIについて説明及びPRすることで調整が進められていた。

しかしながら、7月27日(土)夜、インド側訪日団は全員訪日をキャンセルすることとなった旨、在インド大使館を通じて、インド側食品加工省より一方的に日本側に連絡があった。そのため、30日の大阪及び31日の東京については、急遽在京インド大使館の一等書記官が登壇して発表することとなった。一方、29日の名古屋については、インド側登壇者はなく、他の議事を拡大・延長することで対応することとなった。

① 名古屋セミナー

開催日：2019年7月29日(月) 13:00-15:20

場所：ウインクあいち 6階

参加人数：25社/28名

名刺獲得数：27名

議事次第：

13:00-13:10	1. 主催者挨拶 農林水産省 中田大臣官房審議官(国際)
13:10-13:55	2. インド食品ビジネス概要・現状等 ジェトロ・ニューデリー事務所 課長 梅木壮一氏
13:55-14:40	3. 企業より活動報告 3-1. ミヤチ株式会社 代表取締役社長 宮地清和氏

	3-2. 「秋平」取締役社長 秋元聡氏
14:40-15:05	4. ワールド・フード・インディア 2019 への出展 ワールド・フード・インディア事務局
15:05-15:20	5. 質疑応答
15:20	6. 閉会

インド食品ビジネス概要・現状等：

日本産農林水産物・食品の輸出および日本食レストランの普及状況を紹介した上で、インド特有の食嗜好や複雑な輸入手続き、外資規制等の日本食品を普及させる上でクリアしなければならない課題について説明。その上で、インドに期待される所得水準の向上と多様化する大都市の外出市場における変化の兆しが見られることについて言及しつつ、増加しつつある食品販売ビジネスを展開する日本企業の事例を紹介。

企業より活動報告：

(ミヤチ株式会社 代表取締役社長 宮地清和氏)

UP 州での事業展開に至った経緯、現在の事業内容（ソーラー噴霧器、ナマズの養殖等）を紹介。日本の技術に対するインド側の期待は大きく、市場は巨大なので日本の企業のさらなるインド展開が期待されることにつき言及。大企業だけでなく、その場で意思決定ができる中小企業にも積極的にインド進出を検討して欲しい旨呼びかけ。

(「秋平」取締役社長 秋元聡氏)

2016 年からチェンナイにてラーメン店「秋平」を展開する秋元氏から、インド進出の理由と経緯、課題について発表。インドの多様性について言及しつつ、ターゲットを絞りアプローチすることが必要との説明。

ワールド・フード・インディア 2019 への出展：

本年 11 月のワールド・フード・インディア 2019 に関し、出展費用、出展までのスケジュール、ジャパン・パビリオンの体制等について説明。セミナー直後、仮出展申込みをウェブより開始し、出展に関する規定等が今後インド側から提供されれば、随時、仮出展申込み者に情報提供を行うことにつき説明。

名古屋セミナーアンケート結果： 回収率 28 分の 27=93%

		設問	4	3	2	1
			役に立った	まあ役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
< 質問 1 >	回答率	全体に対して	14	10	1	0
	96%					
< 質問 2 >	回答率	インド食品ビジネス概要・現状 JETRO ニューデリー梅木さん	17	6	0	0
	88%					
	回答率	企業による活動報告 秋元さん /宮地さん	11	7	0	0
	69%					
回答率	WFI2019 出展について 事務局 水村	9	8	0	0	
65%						

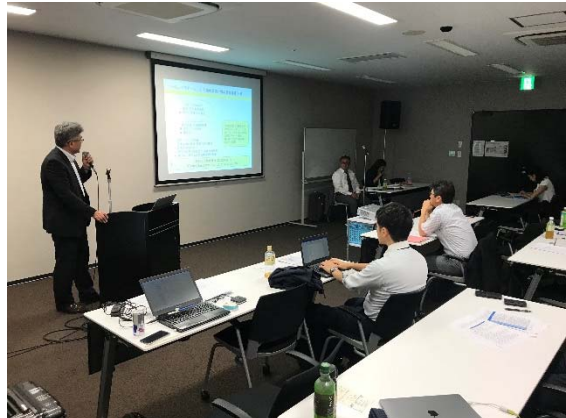
		参加者の業種内訳				
< 質問 3 >	回答率	商社 (総合・専門)	製造業 (工作機械・産業機械)	製造業 (エレクトロニクス・精密機械)	製造業 (重電・設備機器)	製造業 (素材・建材・科学)
			4	1		
		製造業 (輸送用機械・建機)	製造業 (食品・日用品・その他・FMCG)	その他製造業	建設	エンジニアリング
	100%	資源・エネルギー	運輸ロジスティック	金融	情報・通信	調査・コンサル・法律事務所
			3	1		1
		その他サービス業	省庁・自治体	各種団体	その他 (大学)	その他 (動物医療)
	1	2	1	4	1	

尚、質問事項 4 については該当する企業が不在の為、回答記載なしとする。

名古屋セミナーの様子

ご利用案内 7月29日(月)

ご利用名	時間	1301
仲栄産業株式会社 会社説明会	13:00~17:00	1301
農業・食産業のインド進出セミナー	13:00~17:00	1302
株式会社善都 セミナー	09:00~17:00	1305
株式会社日本ビューティコーポレーション 研修会	13:00~17:00	1307
オムロンオートモーティブエレクトロニクス新卒採用 研修会	10:55~16:30 13:00~21:00	1308 1309
株式会社東陽テクニカ セミナー	09:00~21:00	1310



② 大阪セミナー

開催日：2019年7月30日（火）14:00-16:20

場所：毎日インテシオ 6階

参加人数：43社/47名様

名刺獲得数：46名様

議事次第：

14:00-16:20	1. 主催者挨拶 農林水産省 中田大臣官房審議官（国際）
14:10-14:50	2. インドの食品加工分野における機会 在京インド大使館サティヤ・パル・クマール一等書記官（貿易担当）
14:50-15:10	3. インド食品ビジネス概要・現状等 ジェトロ・ニューデリー事務所 課長 梅木壮一氏
15:10-15:40	4. 企業より活動報告 4-1. 鴻池運輸株式会社 インド統括部課長 田邊嗣朗氏 4-2. 「秋平」取締役社長 秋元聡氏
15:40-16:05	5. ワールド・フード・インディア 2019 への出展 ワールド・フード・インディア事務局
16:05-16:20	6. 質疑応答
16:20	7. 閉会

インドの食品加工分野における機会：

経済成長、世界第2位の人口、世界第6位の食品市場額等により、インドの食品産業分野は、2025年には4兆8000億ドルの市場となること、当該分野への参入に対しては運用開始から5年間は100%の免税措置を講ずるとの優遇策等を紹介しつつ、インド食品産業分野の可能性について説明。また、世界中から食品加工工場が誘致されていること及び食品の安全確保の政策を推進している旨説明。進出企業の例として、ネスレ、コカ・コーラやウォルマートなどの事例を紹介しつつ、日本の企業にもチャンスがあることについて説明。

インド食品ビジネス概要・現状等：

（名古屋会場と同様のため省略）

企業より活動報告：

（鴻池運輸株式会社インド統括部課長 田邊嗣朗氏）

同社グループのインド現地法人において実施している、国際物流及び低温物流サービス、インドの物流状況について説明。また、2019年4月から、インド統括本部を設置し、農林水産品・加工食品の輸送についても強化していくこと、本年農水省補助事業において実施している鶏卵の輸送実証の経過、インドにおいて野菜生産

を行っている現地パートナーHASORA について報告。

(「秋平」取締役社長 秋元聡氏)
(名古屋会場と同様のため省略)

ワールド・フード・インディア 2019 への出展：
(名古屋会場と同様のため省略)

アンケート集計結果： 回収率 47 分の 36=77%

		設問	4	3	2	1
			役に立った	まあ役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
< 質問 1 >	回答率	全体に対して	14	20	2	0
	100%					
< 質問 2 >	回答率	インド投資の魅力	6	23	4	0
	92%	在京クマール一等書記官				
	回答率	インド食品ビジネス概要・現状	22	14	0	0
	100%	JETRO ニューデリー梅木さん				
	回答率	企業による活動報告 秋元さん	20	15	0	0
	97%	/田邊さん				
回答率	WFI2019 出展について 事務局	9	21	0	1	
86%	水村					

		参加者の業種内訳				
< 質問 3 >	回答率	商社 (総合・専門)	製造業 (工作機械・産業機械)	製造業 (エレクトロニクス・精密機械)	製造業 (重電・設備機器)	製造業 (素材・建材・科学)
		5	3	0	0	5
	97%	製造業 (輸送用機械・建機)	製造業 (食品・日用品・その他・FMCG)	その他製造業	建設	エンジニアリング
		0	7	2	1	0
		資源・エネ	運輸	金融	情報・通信	調査・コン

		ルギー	ロジステ イック			サル・法律 事務所
		0	2	0	0	1
		その他サ ービス業	省庁・自治 体	各種団体	その他（大 学）	その他 （動物医 療）
		2	4	1	2	

大阪セミナーの様子

毎日インテシオ4F貸会議室 本日の催し 7月30日(火)		
催し内容	会議室	時間
日本たばこ産業 様 Ploom TECH 説明販売会	B	11:00~19:00
株式会社ソフトウェアクレイドル 様 専用会議室	C	9:00~21:00
セーレン株式会社 様 2020AUTUMN&WINTER SEIREN INNER商談会(準備)	大 (D+E)	7:00~21:00
農林水産省 様 農業・食産業のインド進出セミナー~World Food India 2019に向けて~	F	12:00~18:00



③ 東京セミナー

開催日：2019年7月31日（水）13:30-16:30

場所：ジェトロ本部 5階 展示場

参加人数：106社/134名

名刺獲得数：95枚

議事次第：

13:30-13:40	1. 主催者挨拶 農林水産省 中田大臣官房審議官（国際）
13:40-13:55	2. インドの食品加工分野における機会 在京インド大使館サティヤ・パル・クマール一等書記官（貿易担当）
13:55-14:00	3. サンジェイ・クマール・ヴァルマ駐日インド大使挨拶
14:00-14:30	4. インド食品ビジネス概要・現状等 ジェトロ・ニューデリー事務所 課長 梅木壮一氏
15:30-15:40	休憩
15:40-15:55	5. 企業より活動報告 5-1. 鴻池運輸株式会社 インド統括部課長 田邊嗣朗氏 5-2. 「秋平」取締役社長 秋元聡氏
15:55-16:15	6. ワールド・フード・インディア 2019 への出展 ワールド・フード・インディア事務局
16:15-16:30	7. 質疑応答
16:30	8. 閉会

インドの食品加工分野における機会：

（大阪会場と同様のため省略）

ヴァルマ駐日インド大使より挨拶（開始時間から遅れて到着）：

インドは食品加工分野を重要視しており、主要産業にしたいと考えていること、世界銀行によるビジネスのしやすさランキングでも、2018年には77位と急上昇していることを紹介しつつ、インドへの投資促進を呼びかけ。

インド食品ビジネス概要・現状等：

（名古屋及び大阪会場と同様のため省略）

企業より活動報告：

世界で第5位の鶏卵生産量（3,000羽）であるイセ食品の養鶏事業について、前回のワールド・フード・インディア 2017 への出展をきっかけとして、インド展開を加速化したこと、今年度は農林水産省の補助事業も活用しながら現地で鶏卵の輸送実証を実施中であることについて説明。また、スズキとの連携により個々の消費

者に鶏卵を届けるエッグレディ構想、昨年設立された日印フードビジネス協議会の活動について紹介。

ワールド・フード・インディア 2019 への出展：
 (名古屋及び大阪会場と同様のため省略)

アンケート集計結果： 回収率69%

		設問	4	3	2	1
			役に立った	まあ役に立った	あまり役に立たなかった	役に立たなかった
< 質問 1 >	回答率	全体に対して	37	46	6	0
	96%					
< 質問 2 >	回答率	インド投資の魅力 在京クマール一等書記官	12	44	15	1
	77%					
	回答率	インド食品ビジネス概要・現状 JETRO ニューデリー梅木さん	47	40	3	0
	97%					
	回答率	企業による活動報告 原田さん	34	41	8	0
	89%					
回答率	WFI2019 出展について 事務局 水村	24	37	12	5	
84%						

		参加者の業種内訳				
< 質問 3 >	回答率	商社 (総合・専門)	製造業 (工作機械・産業機械)	製造業 (エレクトロニクス・精密機械)	製造業 (重電・設備機器)	製造業 (素材・建材・科学)
		17	1	2	1	3
		製造業 (輸送用機械・建機)	製造業 (食品・日用品・その他・FMCG)	その他製造業	建設	エンジニアリング
	1	16	2	0	0	
91%	資源・エネルギー	運輸ロジスティック	金融	情報・通信	調査・コンサル・法律事務所	

		0	13	8	0	8
	その他サービス業		省庁・自治体	各種団体	その他	未解答
		2	1	2	8	8

東京セミナーの様子



④日本企業からの食品加工省への要望

当初、東京会場では、食品加工省リーマ局長に対し、日本企業から直接要望または質問を行うセッションを予定しており、参加申込みの際に日本企業から記載してもらいとりまとめた「日本企業の要望・質問一覧」を農林水産省からインド側食品加工省に事前送付の上、セミナー当日に会場にて食品加工省から日本企業に対し、直接回答することで調整を進めていた。しかし、インド側食品加工省の出席がなかったことから、「日本企業から食品加工省に対する要望・質問」セッションについては取りやめ、セミナー全体を通しての通常の質疑応答を実施した。

食品加工省の代わりに急遽登壇した在京インド大使館からも回答は得られたが、極めて一般的かつ抽象的な回答にとどまり、セミナー参加者は食品加工分野に特化した具体的な要望及び質問への的確な回答を得る機会を逃したものと考えられる。また、セミナー後、一部の日本企業から要望に対する回答が欲しいとの声が農林水産省に寄せられたことから、農林水産省から在インド大使館を通じて食品加工省に対して「日本企業から食品加工省に対する要望・質問」を送付し、回答するよう依頼した。食品加工省からの回答については、WFIウェブページに掲載し、セミナー参加企業にフィードバックした〈別紙2〉。

3. 出展者のとりまとめ

インド投資セミナー後、WFIウェブページにて仮出展企業の受付を開始。しかし、8月1日、インド首相府の指示でWFIがキャンセルされたとの在インド大使館からの非公式な連絡を受け、8月9日までに7社の仮出展申込みを受け付けたところで、いったん受け付けを停止した。その後、8月13日、農林水産省より、当該7社に個別に状況をメールによって説明するとともに、他の企業に対しては、WFIウェブページより「重要なお知らせ」としてWFIがキャンセルとなった旨周知した。8月21日、WFIの公式ホームページにおいて、インド側から11月にWFIは開催されない旨 (We regret to inform you that WFI 2019 stands cancelled due to unavoidable circumstances. We apologize for the inconvenience caused.) の通知がなされたことを受け、8月22日、WFIウェブページの「重要なお知らせ」にその旨追記した。〈別紙3〉

4. ジャパン・パビリオンの設計・管理等

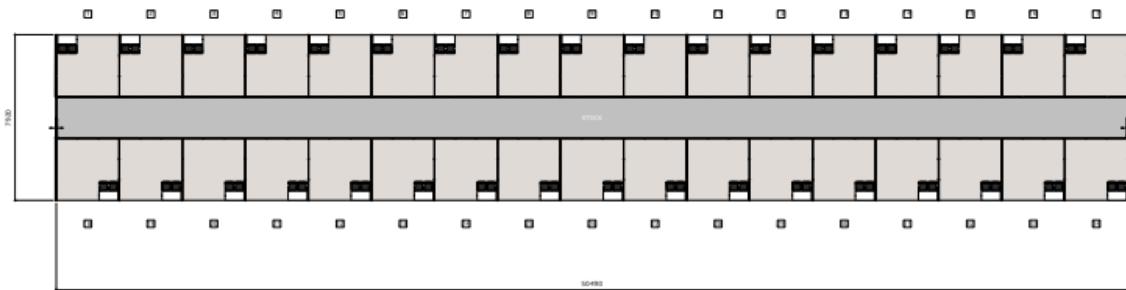
2017年度の資料を基本とした設計を実行した。なお、管理面として以下を手配した。

- ・事務局として旅程管理資格（添乗員）を所持したの日本人スタッフを3名手配
- ・日本語検定2級以上の通訳を手配
- ・会場から一番近いホテルを手配
- ・車両及びガイドの手配

しかしながら、「3 出展者の取りまとめ」でも記載してあるように、WFIがキャンセルとなったことを受け、2019年8月21日をもって上記全てをキャンセルした。

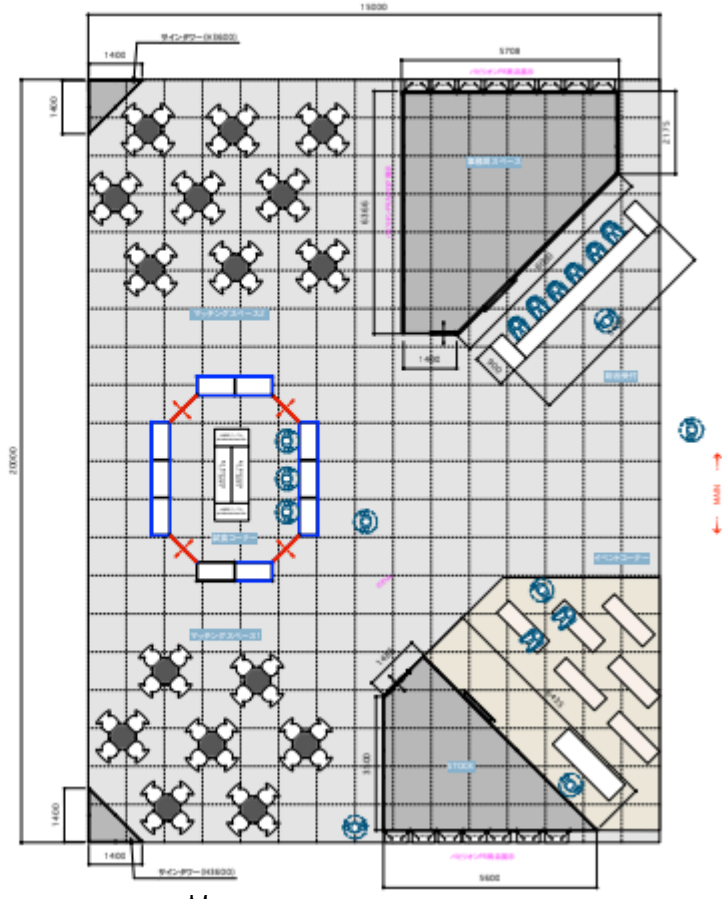
400平米

400㎡のイメージ設計

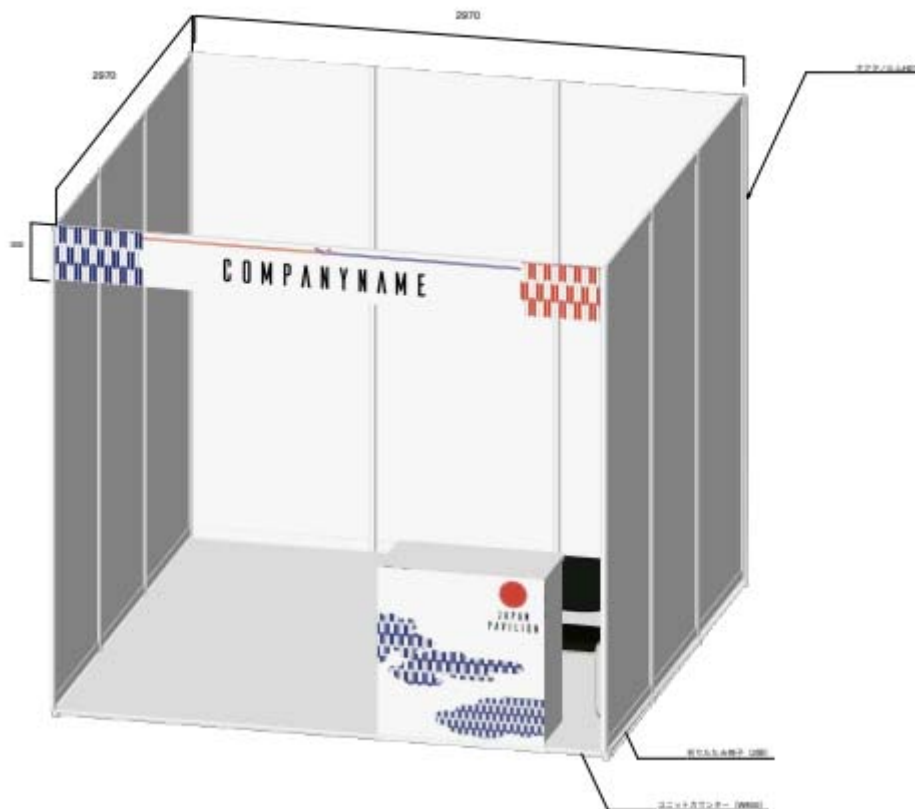


300平米

300㎡のイメージ設計



3×3のイメージ設計図



ジャパンパビリオン外見イメージ図



5. その他

日本企業とインド企業及び政府とのマッチングを行う為に日本貿易振興（以下JETRO）のアドバイザーでもある株式会社インフォブリッジマーケティング&プロモーションズ（以下インフォブリッジ）<http://www.infobridgeasia.com/company/>と提携した。

JETROとの協議の上、WFI2019での第3国調査対象国候補の協議をしたところ、候補国は以下の通り、

- ・ 韓国のブース調査
- ・ アメリカのブース調査
- ・ イタリアのブース調査

が候補となった。

上記を第3国調査対象国候補とすることについて、インフォブリッジとも共有を計った。

<別紙 1-1> ジャパン・パビリオンに係る広報 パンフレット(A4 サイズ)

World Food India 2019

農林水産省、日本貿易振興機構(ジェトロ)は、インド大使館と共催で、インド食品加工者関係者も出席の下、インドでの食品加工分野における事業展開を促進するためのセミナー「農業・食産業のインド進出セミナー～World Food India 2019に向けて～」を、東京、大阪、名古屋で開催します。同セミナーでは、「ワールド・フード・インディア2019」への出席についてもご案内します。また、東京会場期間限定では、インド食品加工者関係者に対し、直接要望を伝えるセッションも設定される予定です。ぜひご参加ください。

World Food India 2019

日程	2019年11月1日(金)～11月4日(月)
開催会場	ニューデリー
概要	毎年インド・インド食品の両国で開催する、インド最大の食品・飲料・加工食品・食品加工機械展覧会「ワールド・フード・インディア2019」。「ワールド・フード・インディア2019」は、両国の消費者や事業者に対して食品産業分野における日本の高い製品・サービスを紹介する絶好の機会です。

セミナー概要 「農業・食産業のインド進出セミナー～World Food India 2019に向けて～」

インドは、日本の約2倍以上の人口、GDP額の優位を押し、高い経済成長率を維持する超大国であり、今後も中間人口や高齢中間人口の拡大が促されています。他方、インドにおける日系食品関連企業の進出数は市場規模に比して少なく、これは、法規制・商習慣に関する情報不足や、現地市場のニーズ把握できないことが一因とされていると考えられます。

今回は、ジェトロ・ニューデリー事務所からアドバイザーを招き、インドの経済や消費動向、食習慣、現地でのビジネスをしてきたからこそお伝えできる生の情報を共有します。また、インドへの進出支援においては、現地の消費者や事業者と直接、自社の製品・サービスを売りこめる場として、展示会の活用が有効です。

2019年11月1日(金)～11月4日(月)はニューデリーで開催されるインド最大の食品・飲料・加工食品・食品加工機械展覧会「ワールド・フード・インディア2019」の出展についてもご紹介します。

また、東京会場期間限定では、インド食品加工者関係者に対し、直接要望を伝えるセッションも設定される予定です。ぜひご参加ください。

名古屋

日時	
2019年7月29日(月)	
13:00～16:20	
参加費	定員
無料(※事前登録制)	50名
セミナー会場	
ウィングあいち1302会議室 〒466-8601 名古屋市中村区名駅4丁目4-20	

大阪

日時	
2019年7月30日(火)	
14:00～16:20	
参加費	定員
無料(※事前登録制)	50名
セミナー会場	
毎日インテオ 会議室F 〒545-0051 大阪市北区梅田3丁目4-5	

東京

日時	
2019年7月31日(水)	
13:30～16:30	
参加費	定員
無料(※事前登録制)	100名
セミナー会場	
ジェトロ本部 5階 展示場 〒100-8588 東京都港区赤坂1丁目12-22 アークビル	

お申込み方法は [こちらから](https://www.his-j.com/tyo/group/sp_web/worldfoodindia/) https://www.his-j.com/tyo/group/sp_web/worldfoodindia/

申込フォームに必要事項をご入力の上、お申込みください。ご入力の際は、お間違えのないようご注意ください。

※会場内およびオンライン会場は、変更が生じる場合がございます。必ず事前にご参加お申し込みください。お申し込みにて取得した個人に関する情報は、本申込みページに記述する用途のほかは、ご自身の案内および当社が主催する企業展示・発表・説明、もしくはお申し込みページや展示会場のイベントのご案内のため、当社の食品情報センターへ一時的にその旨をお知らせいたします。当社および当社グループ企業からの情報提供は行いません。その他、他の権利を侵害しない、且つに誤解・誤伝を防止し一貫した方針を、お申し込みページ・イベントの個人情報保護方針(個人情報の取扱い)については、https://www.his-j.com/tyo/group/sp_web/worldfoodindia/をご確認ください。

主催

農林水産省・日本貿易振興機構(ジェトロ)

共催

インド大使館

HIS

株式会社 エイチ・アイ・エス

ワールドフードインディア事務局(担当:水村、宮内)

〒113-8502 東京都文京区湯島1-1-1 日本橋本町ビル4F(4F)会議室

03-6692-9391

[平日10:00～17:00] [土・日・祝]休

<別紙 1-2> ジャパン・パビリオンに係る広報 ウェブ画面 1

World Food India 2019

WORLD FOOD INDIA 2019

1 - 4 November • New Delhi

Forging Partnership for Growth

Nov. 1-4 New Delhi

World Food India概要 セミナー概要 セミナー申込みフォーム お問い合わせ

農林水産省、日本貿易振興機構（ジェトロ）は、インド大使館と共催で、インド食品加工省関係者も出席の下、インドでの食品加工分野における事業展開を促進するためのセミナー「農業・食産業のインド進出セミナー～World Food India2019に向けて～」を、東京、大阪、名古屋で開催します。同セミナーでは、「ワールド・フード・インディア2019」への出展についてもご案内します。また、東京会場開催回では、インド食品加工省関係者に対し、直接要望を伝えるセッションも設定される予定ですので奮ってご参加ください。

World Food India 2019

日程	2019年11月1日(金)～11月4日(月)
開催都市	ニューデリー
公式ホームページ	http://www.worldfoodindia.gov.in/
概要	隔年ごとにインド食品加工省が主催する、インド最大級の食品・飲料・加工食品・食品加工機械技術展示会「ワールド・フード・インディア2019」。 「ワールド・フード・インディア2019」は、同国の消費者や事業者に対して食品産業分野における日本の質の高い製品・サービスをアピールする絶好の機会です。 ※前回「ワールド・フード・インディア2017」の様子（在インド日本大使館ホームページ） https://www.in.emb-japan.go.jp/itpr_ja/00_000456.html

セミナー概要

「農業・食産業のインド進出セミナー～World Food India2019に向けて～」

	名古屋	大阪	東京
日程	2019年7月29日（月） 13:00～15:20	2019年7月30日（火） 14:00～16:20	2019年7月31日（水） 13:30～16:30
会場	ウイングあいち1302会議室 会場へのアクセス	毎日インテシオ 会議室F 会場へのアクセス	ジェトロ本部 5階 展示場 会場へのアクセス
プログラム	下記参照	下記参照	Coming Soon...

概要	<p>インドは、日本の10倍以上の人口、約9倍の面積を有し、高いGDP成長率を維持する巨大市場であり、今後も中間層人口や生産年齢人口の拡大が見込まれています。他方、インドにおける日系食品関連企業の進出数は市場規模に比して少なく、これは、法制度・商習慣に関する情報不足や、現地市場のニーズが把握できないことが一因となっていると考えられます。</p> <p>今回は、ジェトロ・ニューデリー事務所からアドバイザーを招き、インドの概要や市場情報、商慣習、現地でビジネスをしてきたからこそお伝えできる生の情報を共有します。</p> <p>また、インドへの事業展開においては、現地の消費者や事業者へ直接、自社の製品・サービスをPRできる場として、展示会の活用が有効です。2019年11月1日（金）～11月4日（月）にニューデリーで開催されるインド最大級の食品・飲料・加工食品・食品加工機械技術展示会「ワールド・フード・インディア2019」の出展についてもご紹介いたします。また、東京会場開催回では、インド食品加工省関係者に対し、直接要望を伝えるセッションも設定される予定ですので奮ってご参加ください。</p>		
参加費	無料		
定員	50名 ※定員に達した場合のみ ご連絡します。	50名 ※定員に達した場合のみ ご連絡します。	100名 ※定員に達した場合のみ ご連絡します。
申込み締切	2019年7月26日（金）17:00		

プログラム

名古屋	
13:00-13:05	主催者挨拶 農林水産省大臣官房審議官 中田峰示
13:05-13:35	「食品加工分野における対インド投資の魅力、ワールドフードインディア2019について」 （予定） インド食品加工省
13:35-14:05	「インド食品ビジネス概要・現状」（予定）ジェトロ・ニューデリー事務所 梅木壮一
14:05-14:45	進出済み企業より活動報告
14:45-15:20	「ワールドフードインディア2019への出展について」 ワールドフードインディア事務局 水村浩
15:20	閉会

大阪	
14:00-14:10	主催者挨拶 農林水産省大臣官房審議官 中田峰示 在大阪インド総領事挨拶（予定）
14:10-14:40	「食品加工分野における対インド投資の魅力、ワールドフードインディア2019について」 （予定） インド食品加工省
14:40-15:10	「インド食品ビジネス概要・現状」（予定）ジェトロ・ニューデリー事務所 梅木壮一
15:10-15:50	進出済み企業より活動報告
15:50-16:20	「ワールドフードインディア2019への出展について」 ワールドフードインディア事務局 水村浩
16:20	閉会

東京	
13:30-13:40	主催者挨拶 農林水産省大臣官房審議官 中田峰示 共催者挨拶 サンジェイ・クマール・ヴァルマ駐日インド大使
13:40-14:10	「食品加工分野における対インド投資の魅力、ワールドフードインディア2019について」 (予定) インド食品加工省ハルシムラット・コール・パダル大臣
14:10-14:40	インド側に対する日本企業要望、インド側回答
14:40-15:00	休憩
15:00-15:30	「インド食品ビジネス概要・現状等」(予定) ジェトロ・ニューデリー事務所 梅木壮一
15:30-16:00	進出済み企業より活動報告(予定)
16:00-16:30	「ワールドフードインディア2019への出展について」 ワールドフードインディア事務局 水村浩
16:30	閉会

セミナーお申込み

※申込区分はフォームよりご選択いただけます

※締切日：2019年7月26日(金) 17:00

名古屋 7月29日(月)

受付終了

大阪 7月30日(火)

受付終了

東京 7月31日(水)

【満員御礼】 定員に達したため受付を終了いたしました

受付終了

お問い合わせ

主催

農林水産省

日本貿易振興機構(ジェトロ)

共催

インド大使館

お問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス
ワールドフードインディア事務局（担当：水村、宮内）（農林水産省委託事業）

〒163-6029
東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー29階

TEL：03-6692-9391
受付時間：10:00-17:00（土日祝除く）

[トップページに戻る](#)

<別紙2> 日本企業から食品加工省への要望及び食品加工省からの回答

**REQUESTS AND QUESTIONS FROM JAPANESE COMPANIES ATTENDING
THE SEMINAR ON 31st TOKYO**

S.No	Requests and questions	Response from Ministry o Food Processing Industry
<i>Incentives and measures for foreign companies</i>		
1	What kind of measures/subsidies for foreign companies to motivate to invest into India if there are any.	<p>Government initiatives</p> <ul style="list-style-type: none"> — 100% FDI in Food Processing — 100% FDI in Retail Trading through government approval route, including through e-commerce (produced & manufactured in India) — Simplified tax structure- through introduction of Uniform Goods & Services Tax across India — Nivesh Bandhu- a one stop investor Portal and Single window facilitation cell — Dedicated investor facilitation desk at Invest India- National Investment Promotion Agency <p>Incentives</p> <ul style="list-style-type: none"> — 100% income tax exemption on profits and gains derived for the first 5 years of operations — Concessional import duty for plant and machinery under project import — Import duty exemption for raw material import under advanced authorisation scheme — Special Food Processing Fund of INR 20 billion created with NABARD for affordable credit facility to Designated Food parks and units set up thereon — <i>MoFPI's Scheme PMKSY offers incentives for establishing the following infrastructure:</i> <ul style="list-style-type: none"> • Mega Food Park (upto 50 % of eligible cost subjected to a maximum of INR 500 million for general areas) <ul style="list-style-type: none"> ○ Cold Chain (upto 50 % of eligible cost subjected to a maximum of INR 100 million for general areas) • Creation/Expansion of food processing & preservation capacities (upto 35% of the cost of plant and machinery subjected to a maximum of INR 50 million for general areas) • Infrastructure for agro-processing clusters (upto 35% of eligible project cost subjected to a max of INR 100 million for general areas) • Creation of backward and forward linkages (upto 35%

		<p>of the project cost subjected to a maximum of INR 50 million for general areas)</p> <ul style="list-style-type: none"> • Food safety and Quality assurance infrastructure (upto 50% of the project cost for general areas) • Scheme for Human Resource and Institutions (upto 50% of project of equipment cost) <p>For further details of above-mentioned scheme, please refer to the below mentioned link. Pradhan Mantri Kisan Sampada Yojna: http://mofpi.nic.in/Schemes/about-pmksy-scheme</p> <p>Apart from the above mentioned central government schemes, significant state specific incentives are provided by state governments.</p>
2	The latest information on subsidies on food processing sector which foreign companies can apply.	<p>Incentives</p> <ul style="list-style-type: none"> — 100% income tax exemption on profits and gains derived for the first 5 years of operations — Concessional import duty for plant and machinery under project import — Import duty exemption for raw material import under advanced authorisation scheme — Special Food Processing Fund of INR 20 billion created with NABARD for affordable credit facility to Designated Food parks and units set up thereon — MoFPI's Scheme PMKSY offers incentives for establishing the following infrastructure: <ul style="list-style-type: none"> • Mega Food Park (upto 50 % of eligible cost subjected to a maximum of INR 500 million for general areas) <ul style="list-style-type: none"> ○ Cold Chain (upto 50 % of eligible cost subjected to a maximum of INR 100 million for general areas) • Creation/Expansion of food processing & preservation capacities (upto 35% of the cost of plant and machinery subjected to a maximum of INR 50 million for general areas) <ul style="list-style-type: none"> • Infrastructure for agro-processing clusters (upto 35% of eligible project

		<ul style="list-style-type: none"> • cost subjected to a max of INR 100 million for general areas) • Creation of backward and forward linkages (upto 35% of the project cost subjected to a maximum of INR 50 million for general areas) • Food safety and Quality assurance infrastructure (upto 50% of the project cost for general areas) • Scheme for Human Resource and Institutions (upto 50% of project of equipment cost) <p>For further details of above-mentioned scheme, please refer to the below mentioned link. Pradhan Mantri Kisan Sampada Yojna: http://mofpi.nic.in/Schemes/about-pmksy-scheme</p> <p>Apart from the above mentioned central government schemes, significant state specific incentives are provided by state governments.</p>
Expectation for Japanese companies		
3	What kind technologies or products do food processing sector in India expect Japanese companies to provide in particular?	<p>The technologies/areas where Japanese companies can provide are</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Cold chain solutions ▪ Food processing machinery ▪ Advance technology related to edible food packaging ▪ Mechanization in fisheries sector (Fish Finders, GPS, Refrigerated fish folder and Ice Making Machine) ▪ Technology transfer for value addition and processing in fisheries sector (Mainly Shrimp, Tuna fish and Seaweed Processing)
4	What kind of demands for Japanese products or services is particularly growing in India? What specific areas of food industry from Japan have the potential to grow in Indian market?	<p>Apart from the above-mentioned areas, the following sub-segments have huge growth potential in India:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ Indian fisheries sector is a fast growing market and is expected to grow at a rate of 29% till 2025. ▪ Rice, Pasta and Noodles market is growing at a CAGR of 11% and is expected to reach INR 773.9 Bn in 2023. Japanese companies operating in this segment has huge opportunities to start their operations in India. <p>Indian Poultry market is the 2nd largest in the world and has opportunities in new technology in processing, food testing labs, value added products manufacturing etc. Since, there are big Japanese established group in this sector operating with modern technologies and automated plants, there can be huge opportunity for these companies to bridge the current gap in this sector.</p>

5	Please describe any concrete goals or policies on IT technologies in food processing sector in India provided by MoFPI, and then what kind of technologies or products do you want Japanese companies to provide?	MoFPI has incentives for establishing R&D facility which includes innovations related to IT in food processing sector as well. Japanese companies can provide their expertise of real time monitoring in the reefer vehicles. Also, the technology for real time tag on food packets at a cheaper cost can be explored which can indicate the ultimate customer about the temperature condition the product has been exposed to and whether the product is suitable for consumption or not. Also, there is an increase emphasis from the government and consumers on the food traceability aspect. Technology which can track the movement of food throughout its production life cycle like production, processing and distribution would be of much importance from the industry aspect.
<i>Cold chain/Food supply chain</i>		
6	Please briefly explain the general structure on food distribution in India.	Post-harvest of crops the raw materials are either collected by aggregators or sold by individual farmers either directly in the market to retail chains or through government approved mechanisms to be consumed by the population. The aggregators or farmers also sell their produce to industries who in turn process the food, package it and sell it to the retailers or wholesalers to be sold in the market.
7	We request to construct cold chain infrastructure such as ports, roads and railroads for distributing raw materials and products.	<p>Under Ministry of Food Processing industries' scheme of Pradhan Mantri Kisan Sampada Yojna, the sub scheme of 'Integrated Cold Chain and Value Addition Infrastructure' aims at building 299 cold chains across the country for food processing sector.</p> <p>Other government organisations such as APEDA and NHB also have dedicated schemes for cold chain in India. Links to the same are given in the below related point.</p> <p>The sector is open to investment in cold chain infrastructure. A brief about port, roads and railroads is given below:</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 56.03 lakh Km of road network ▪ 67,368 Km of rail network (4th largest in the world) ▪ 30 International airports. Close to 250 airports to be operationalized by 2020 ▪ 12 major ports and 205 non-major ports across India

8	Please describe any measures taken by Government of India to develop cold chain.	<p>GOI is offering subsidies at central level and at state level to develop the infrastructure for cold chain.</p> <p>Subsidies details:</p> <ul style="list-style-type: none"> • MoFPI: (http://www.mofpi.nic.in/Schemes/about-cold-chain) • APEDA: (https://apeda.gov.in/apedawebsite/Announcements/SchemeGuidelinesMTEF27042018.pdf) • NHB: (http://nhb.gov.in/guideline/12.pdf)
9	Please explain about food supply chain logistics in India.	<p>Currently, there are 9000 reefer transport vehicles and last mile vehicles while the estimated requirement is around 60,000 vehicles. Perishable products like dairy and dairy products, meat and meat products etc. are transported in refrigerated vehicles while less perishable products cereals and grains are transported in normal vehicles. It is estimated that there are more than 8000 cold storages with an installed capacity of the current Cold Storage of 36 Million MT</p>
Issues related FSSAI		
10	We hope that all labelling information through affixing on detachable sticker is approved.	<p>For any packaged food product which is imported in India, FSSAI has laid down the guidelines which shall be followed for labelling purpose which mentions that non detachable sticker should have the following information: Name and address of the importer, FSSAI logo and license number, Non-veg or veg-logo and category/sub-category along with generic name, nature and composition for proprietary food. Please refer to more details in FAQ no. 8 in the below mentioned link: https://fssai.gov.in/cms/importsfaq.php</p>
11	What are the steps being taken by the government to measure the regulatory guidelines implementations.	<ul style="list-style-type: none"> • FSSAI (Food Safety and Standards Authority of India) is the apex body which implements food regulations in the country related to ingredients, compositions, packaging, labelling etc. FSSAI license is required before commencing any operations by food business operator, which ensures all the guidelines with respect to safety, hygiene, processing, packaging and labelling are met before the product reaches the final consumer. • FSSAI notifies food laboratories and research institutions accredited by National Accreditation Board for Testing and Calibration Laboratories or any other accreditation agency for the purposes of carrying out analysis of samples by the Food Analysts. Presently there are 179 notified food testing laboratories.

12	Labeling requirement of IMRP is such a high barrier to import finished goods on trial basis before determining investment into India for Japanese companies, therefore Japanese companies view Indian market is difficult to entry.	<i>Suggestion</i>
Plastic waste		
13	Please describe the views and measures on plastic waste.	<p>India believes in environmental sustainability and recognizes the dangers of plastic waste pollution to the environment.</p> <ul style="list-style-type: none"> • India aims to eliminate single use plastic by 2022 • Few Indian states have banned the use of single use plastic like Tamil Nadu, Telangana, Himachal Pradesh, Maharashtra • States such as Karnataka, UP, Sikkim, Bihar, Odisha, AP, Assam, Meghalaya has banned some form of plastics <p>The problem of plastic waste is encouraging research in below mentioned areas:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Biodegradable packaging Edible packaging
Food Loss		
14	Please describe any measures or regulations taken in order to reduce food loss in India.	<p>Ministry of Food Processing Industries provide various incentives under PMKSY to strengthen the food supply chain and thus further reduce food losses in India</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)Incentivizing the Processing of food products 2)Establishment of cold chain units 3)Establishment of research institutes <p>For further details of above-mentioned scheme, please refer to the below mentioned link. Pradhan Mantri Kisan Sampada Yojna: http://mofpi.nic.in/Schemes/about-pmksy-scheme</p>
Mega Food Park		
15	The latest information on Mega Food Park.	<p>Total Number of Approved Food Parks – 42 Total Number Operational Food Parks – 16 (As on 1st July 2019)</p> <p>Further details about the Mega food Park can be checked on the link http://mofpi.nic.in/sites/default/files/42_mfps_01.07.2019_with_totals.pdf</p>

<i>Clearance and procedures</i>		
16	We request even faster clearance approval and license procedures, in general.	Ministry of Food Processing Industries has set up an Investment targeting and facilitation desk at Invest India (National Investment Promotion & Facilitation Agency) to facilitate smooth entry of foreign investors in India.
17	We request MoFPI to clearly specify regulations and laws regarding producing facilities at food processing sector.	FSSAI's Food Safety Management System Guide (FSMS) gives the guidelines related to locations of processing unit, design and layout, equipment and containers, food testing facility, air quality & ventilation etc for different sub sectors.
18	Please ensure adequate transition period before introducing new measures, laws and regulations.	<i>Suggestion</i>
19	We request even more smooth customs clearance on food and drinks.	<i>Suggestion</i>
<i>Others</i>		
20	Which states prohibit from drinking alcohol?	Currently the following states and union territory practice Prohibition – Bihar, Gujarat, Mizoram, Nagaland, and Lakshadweep
21	We request application and approval procedures for importing seeds (seed rice) should be accepted at any time throughout the year.	Regarding import application for seed rice in India, it sometimes happens that application is rejected because of out of season for rice. Therefore, application is submitted at the last minutes, consequently, it can't make it on best time for seeding.
22	Please tell us educational institutions dedicated to food engineering/processing in India, if there are any.	Currently Institutions like NIFTEM (National Institute of Food Technology, Entrepreneurship and Management), IIFPT (Indian Institute of Food Processing Technology), and IIP (Indian Institute of Packaging) are academic institutions that operate in food processing space. State universities also has some dedicated division for food processing
23	Are there any regulations on importing products containing pork bones extract or beef bones extract?	List of Prohibited items from import in India can be checked on https://dgft.gov.in/policies/prohibited-items
24	Please clarify policies on sugar tax.	India currently doesn't employ a separate sugar tax to tax its sugary drinks and products. Regulations for recycling of plastic waste can be found on the

		link http://pib.nic.in/newsite/printrelease.aspx?relid=138144
25	We request cooperation for conveying correct information about Japanese regulations on residual agricultural chemicals and its criterion value to food processors in India	

<別紙3> WFI ウェブページの「重要なお知らせ」 ウェブ画面



World Food India 2019

 **WORLD FOOD INDIA 2019**

1 - 4 November • New Delhi
Forging Partnership for Growth
Nov. 1-4 New Delhi

重要なお知らせ アンケート セミナー概要 お問い合わせ

重要なお知らせ

2019年8月13日
(2019年8月22日追記)

ワールド・フード・インディア2019について
2019年11月1日～4日の日程で開催される予定であったワールド・フード・インディア2019につきましては、インド首相府の指示により開催キャンセルとなった旨インド側主催者から連絡がありました。
キャンセルの理由及び中止なのか延期なのか等、現時点では、詳細な情報は入手できておりません。
既に仮出展申込みをして下さった企業様には個別連絡をさせて頂き、仮出展申込みを検討して下さった企業様には、本ホームページを持ってお知らせとさせていただきます。
尚、本件に関するインド側からの新たな情報を含む続報等に関しては、本ホームページより随時お知らせ致します。
予めご理解の程宜しくお願い申し上げます。

先般8月13日付の告知にて、ワールド・フード・インディア2019が、主催者を通じインド政府の指示により開催キャンセルとなった旨お知らせいたしました。今般、公式ホームページにおいて、正式に開催キャンセルが公表されましたことをお知らせいたします。

ワールド・フード・インディア2019公式ホームページ <http://www.worldfoodindia.gov.in/>
※トップページの中央白抜き部分に赤字で、
"We regret to inform you that WFI 2019 stands cancelled due to unavoidable circumstances. We apologize for the inconvenience caused."
との記載があります。

ワールド・フード・インディア事務局

インドへの事業展開に関するアンケート

当事務局では、ワールド・フード・インディア2019の開催キャンセルを受け、残念ながらジャパン・パビリオン出展を断念せざるをえません。しかしながら農林水産省では、引き続き潜在的なインドビジネスの可能性を追求したいことから、これに取り組まれる事業者の皆様へのニーズを把握し、今後の農業・食産業分野における効果的な支援メニューの策定に活かしたく、皆様よりご意見をいただきたいと存じます。つきましては、皆様には大変お手数ですがございますが、当事務局を通じ、下記アンケートにご協力頂ける様、お願い申し上げます。

インドへの事業展開に関するアンケート

セミナー概要（セミナーは終了しました）

2019年7月開催「農業・食産業のインド進出セミナー～World Food India2019に向けて～」資料ダウンロード

[>> セミナー概要はコチラ](#)

[>> インド食品加工省からの回答資料はコチラ](#)

セミナー資料ダウンロード

◆7月29日（月）名古屋開催

- ・ [インド食品加工省の提供資料（インド食品加工省不参加のため使用せず）](#)
- ・ [インベスト・インディアの説明資料（インド食品加工省不参加のため使用せず）](#)
- ・ [ジェットロ・ニューデリー事務所 梅木壮一氏説明資料](#)
- ・ [ミヤチ株式会社 宮地清和氏説明資料](#)
- ・ [「秋平」 秋元聡氏説明資料](#)
- ・ [ワールド・フード・インディア2019 事務局 水村浩説明資料](#)

◆7月30日（火）大阪開催（名古屋と共通資料は省略）

- ・ [在東京インド大使館サティヤ・パル・クマールー等書記官説明資料](#)
- ・ [鴻池運輸株式会社 田邊嗣朗氏説明資料](#)

◆7月31日（水）東京開催（名古屋及び大阪と共通資料は省略）

- ・ [イセ食品株式会社 原田純也氏説明資料](#)

お問い合わせ

お問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス
ワールド・フード・インディア事務局（担当：水村、宮内）（農林水産省委託事業）

〒163-6029

東京都新宿区西新宿6-8-1 住友不動産新宿オークタワー29階

TEL：水村直通 070-1323-2298 / 宮内直通 080-4799-6201

MAIL：worldfoodindia-2019@his-world.com

受付時間：10:00-17:00（土日祝除く）

[トップページに戻る](#)